ABC046 D - AtCoDeer くんと変なじゃんけん

考察

対戦相手も制約を満たす手を出すというのが重要。相手のグーの合計とパーの合計が同じであれば、どうやってもプラスで終えることはできない。 $(\cdot \cdot \cdot)$ どこかで勝っても他のところで必ず負ける)相手がグーを、パーよりも 2 回多く出した場合、そのどちらか (というかあとの方) で自分がパーを出しても、残りの手をトレースすることができる。つまり、相手のグーの合計数を G、パーの合計数を G とすると、G とするとなる。計算量は G とすると、G とりなると、G とりなん G とりなん G とりなん G とりなると、G とりなん G と